

安全データシート (SDS)

作成日 2005年9月12日

改訂日 2017年2月6日

1. 化学品 (製品) 及び会社情報

製品名 : JA-90 マシュロンテープ
会社名 : 株式会社ジャパンアイビック
会社住所 : 〒262-0045 千葉市花見川区作新台5丁目4番1号
担当部門 : 開発営業部
電話番号 : 043-259-9461
FAX番号 : 043-259-9571
緊急連絡先 : 043-259-9461
推奨用途 : ダクトフランジ用ガスケット
整理番号 : 0020

2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 該当なし

危険性 : 該当なし

有害性 : PTFE を長時間 260°C 以上に加熱すると、ポリマーフェーム熱の原因と考えられる微粒子状物質を発生する。約 400°C で、微量のフッ化水素及びフッ化カルボニルを発生し、更に高温では多量に発生する。

環境影響 : 該当なし

3. 組成及び成分情報

物質の特性 単一製品・混合物の区分 : 単一

化学名 : ポリテトラフルオロエチレン (PTFE)

成分及び含有量 : ポリテトラフルオロエチレン 100%

CSA No. : 9002-84-0

4. 応急措置

目に入った場合 : こすらずに異物感が無くなるまで清浄な水で洗浄し、必要に応じて医師の診察を受ける。

切断粉等を吸入した場合 : 十分にうがいを行なう。PTFE の加熱又は燃焼によって生じるヒュームを吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。もし異常があれば、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : PTFE の熱分解ガスに注意し、防毒マスクを着用し消火に当たる。

消火剤 : 水又は通常の消火器を使用する。

6. 漏出時の措置

該当しない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い : 取扱いは火気厳禁とし、通風・換気の良い場所にて行なうこと。

PTFE が付着した煙草の喫煙により、有毒な分解ガスを吸入する恐れがあるので、作業場は禁煙とすること。

保管 : 直射日光、水漏れ、温度変化の少ない一定の場所を定めて保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 260°C 以上に加熱する工程では、局所排気装置などを設置する。

許容濃度 : 設定されていない。

管理濃度 : 設定されていない。

保護具 : 通常の状態では必要としない。当該製品が 260°C 以上に加熱され、生じる分解生成物中に人体が暴露される場合は送気マスクを使用する。必要に応じて保護眼鏡、保護衣等を着用する。

9.物理的及び化学的性質

外 観：白色のロッド状

比 重：0.5～0.8

硬 度：70° ～90°

沸 点：該当値なし

溶解度：水及びほとんどの溶剤に不溶

P H：該当値なし

揮発性：データなし

10.安定性及び反応性

260℃以上で極めてゆっくりだが分解を始める。400℃以上では分解速度が速くなる。

熱分解により生成が始まる可能性のある温度レベルと成分：

テトラフルオロエチレン 430℃以上

ヘキサフルオロプロピレン 440℃以上

パーフルオロイソブチレン 470℃以上

フッ化カルボニル 500℃以上

アルミニウム及びマグネシウムのような金属の粉末、フッ素（F₂）及び三フッ化塩素（ClF₃）のようなフッ素化合物といった酸化物と反応し、火災や爆発を起こす恐れがある。

11.有害性情報

PTFE の有害性

急性毒性：経口 ラット LD₅₀ 1,250 mg/kg

動物実験：皮膚に刺激性はない。動物実験で、高濃度の粉塵を吸入暴露すると、肺を刺激する結果が得られた。反復投与させても顕著な毒性の影響はない。

ただし、長期間投与すると白血球の数が増える。動物及び細菌培養実験では、遺伝毒性は示さない。

発ガン性：・日本産業衛生学会（1998 年度版）、OSHA（米国労働安全衛生法 1993 年度版）NTP（米国国家毒性計画）のいずれにも記載なし。

・IARC（国際ガン研究機関）の分類ではグループ 3。

PTFE が熱分解した場合

人の健康に対する影響

燃焼したときに生じるフュームを吸入すると、約 24 時間継続するような熱、悪寒、咳のような一時的な流涙に似た症状のポリマーフューム熱を生じる恐れがある。

フッ化水素の影響

低濃度のフッ化水素を吸引すると、まず息苦しくなり、咳が出て、眼、鼻及び咽頭の重度の刺激を生じ、熱、悪寒が 1～2 日続いた後、呼吸困難、チアノーゼ及び肺水腫が起こる。

高濃度のフッ化水素に短期及び長期暴露すると肝臓及び腎臓を損傷する。

フッ化カルボニルの影響

皮膚：不快感または発疹を生じる。

眼：角膜または結膜の潰瘍を生じる。

呼吸器系：刺激

肺：咳、不快感、呼吸困難、または息切れ等の一時的な刺激を生じる。

12.環境影響情報

生態影響についてはデータなし。

13.廃棄上の注意

廃棄物専用容器等により他のものと区別して保管廃棄する。廃棄する場合は、焼却せず埋め立て処分するが、その場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）の区分に従って処理すること。

14.輸送上の注意

特になし。

15.適用法令

特にない：輸出貿易管理令法非該当

16.その他の情報

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、内容は新しい知見により改訂されることがあります。また、記載の注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取り扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取り扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取り扱ってください。
